

INFORMATION

- 本 本庁**
〒328-8686 万町9-25
☎21-2316 FAX21-2673
 - 大平総合支所**
〒329-4492 大平町富田558
☎43-9205 FAX43-8818
 - 藤岡総合支所**
〒323-1192 藤岡町藤岡1022-5
☎62-0900 FAX62-4625
 - 都賀総合支所**
〒328-0192 都賀町家中5982-1
☎29-1100 FAX28-0169
 - 西方総合支所**
〒322-0692 西方町本城1
☎92-0300 FAX92-2611
 - 岩舟総合支所**
〒329-4392 岩舟町静5133-1
☎55-7751 FAX55-4910
- 休日にお困りの時は
本庁日直 ☎(22) 3535



市の鳥「カモ」

今月の注目情報

派遣型救急ワークステーションの運用を開始しました

市では、救急隊員の知識及び技能を向上させ、市民の皆さんに、より安全で質の高い救急医療体制を提供するため、とちぎメディカルセンターしもつがと連携し、県内初となる「派遣型救急ワークステーション」を開始しました。

派遣型救急ワークステーションとは？

救急隊員の知識や技術を向上させる教育の拠点で、医療機関に救急車と共に3人の救急隊員を派遣するものです。派遣された救急隊員は、医師や看護師から指導を受けながら救急処置の実習や、救命処置の補助を行います。

また、実習中に救急要請があった場合は、救急隊員の教育を目的に、状況に応じて医師や看護師が救急車に同乗し、活動内容に対する指示・助言を受けます。救急隊の実習への理解と協力をお願いします。

期待される効果

(1)市民の皆さん

・救急隊員が、医師や看護師から On the Job training で教育を受けることにより、救急隊員の資質が向上し、救命率の向上及び後遺症の軽減につながります。

・安心して安全な救急サービスを受けられます。

(3)医療機関

・救急隊の技能等を把握し、適切な指示を出すことができます。

・医療機関と救急隊との連携した医療体制が確立することで、多数の傷病者が発生した災害時等でも円滑な対応が可能になります。



※市消防本部ホームページでも掲載しています。
問合せ 消防本部警防課 ☎(22)0119(ガイダンス4)

第4回 来て、観て、歩こう 栃木市ウォーキング大会

- 日時** 10月30日(日)出発式8時～ 雨天決行
 - 場所** 栃木市藤岡総合体育館(藤岡町藤岡)集合
 - 対象** どなたでも(小学生以下は要保護者同伴)
 - 定員** 1,000人(先着順)
 - 参加費** 大人500円(高校生以上)なお、当日申込は800円 小中学生100円(未就学児は無料)なお、当日申込は200円
 - 申込** 9月1日(木)～10月10日(月)
 - ①窓口での申込
本 生涯学習課、本 スポーツ振興課、栃木地域内各公民館、大平公民館、藤岡公民館、藤岡スポーツふれあいセンター、都賀公民館、西方公民館、西方総合文化体育館、岩舟公民館にて申込
 - ②郵便払込取扱票用紙での申込(手数料は参加者負担)
 - ③インターネットでの申込(手数料は参加者負担)
大会ホームページ [URL http://www.sportsentry.ne.jp](http://www.sportsentry.ne.jp)
 - ④電話での申込(振込手数料は参加者負担)
申込電話番号 ☎0570-550-846
 - 内容** ウォーキング3コース
 - ①栃木市縦断健脚コース(30kmフリーウォーキング)
藤岡総合体育館→プラッツおおひら→嘉衛門町重伝建地区→都賀総合支所→道の駅にしかた
 - ②花と万葉・三轟山コース(20kmフリーウォーキング)
藤岡総合体育館→とちぎ花センター→道の駅みかも→藤岡総合体育館
 - ③渡良瀬遊水地満喫コース(10kmフリー・集団ウォーキング)
藤岡総合体育館から谷中湖を経て第1調節池を1周
- ※参加賞と記念品があります。抽選による景品もお楽しみに。
◆問合せ スポーツ振興課 ☎(25)0930

市長通信



千塚町上川原産業団地

市民の皆さん、こんにちは。

市内外に未曾有の被害をもたらしたあの「関東・東北豪雨災害」から、間もなく1年が経とうとしています。市はこの1年間、市民の皆さんやボランティアの皆さんをはじめとする多くの方々の協力を得て、着実に復興への道を歩むことができました。とはいえ、まだまだこれから復旧作業を進めていかなければならない点も少なからず残っております。また、水害の教訓をもとにした、災害に強い街づくり・地域づくりに取り組んでいかなければなりません。

地域の皆さんと市が一体となって、防災体制の充実をはかってまいりたいと思います。皆さんのご協力をよろしくお願いたします。

さて、今回は、市の産業基盤整備施策の中から、いよいよこの11月から予約分譲を開始する「千塚町上川原産業団地開発」についてお話をさせていただきます。

国内でかつてない少子高齢化が進む中、市の政策でもっとも重要な課題のひとつが「定住人口の増加」です。栃木市により多くの人に住んでいただくためには、様々な要素が必要ですが、生活するために最も重要なこと、「働く場所」がなければなりません。

市の総合計画を策定するにあたって行った住民アンケートでは「企業の誘致、雇用の創出」という項目が「重要度は高いが満足度は低い」という回答になっており、

市民の皆さんも「栃木市にもっと働ける場所が欲しい」と感じていることが分かります。

この問題を解決するために現在進めている取り組みが「雇用の創出・企業誘致の推進」であり、その中での主要な事業が「千塚町上川原産業団地開発」です。

千塚町上川原産業団地は、平成26年11月に認可を受け、翌27年に事業に着手しました。東北自動車道の栃木インターチェンジの北約2.5km、永野川の西岸に位置し、自然豊かで地下水も豊富であり、また約37ha(分譲面積26.1ha)もの広大な敷地面積を有しています。アクセスを向上させるため、永野川には新しく橋(新千塚橋)を架け、専用道路を設置することにより、栃木インターチェンジまで約5分で到着します。

企業は製品を作っても、効率的に流通させなければならず、高速道路網を利用することが最も効果的です。圏央道が一部開通し、中央道へ80分、東名道へ100分と大幅に短縮された現在、東北道と北関東道が交差する栃木インターチェンジから約5分という立地条件は、とても大きなアドバンテージです。

今後の計画として、本年11月から予約分譲を開始し、来年4月中旬まで企業からの分譲の予約を受け付けます。その後、分譲契約の手続きを進め、新千塚橋が完成する予定の来年6月頃には土地の引渡しを始める予定です。現在造成中の団地は早期に工事を完了させ(H30年3月竣工予定)、少しでも早く優良な企業に立地いただき、市民のみなさんに働く場所を提供したいと考えています。

栃木市長 鈴木俊美

